

子どもを育てる学校・家庭・地域のネットワークづくり



平成24年7月1日発行
中村小学校だより No.7
発行責任者 校長 嶋山 和也

6年保護者卒業対策ボランティア、母親文庫企画読み聞かせボランティア、今年も中村小学校を支えてくれています。ありがとうございます。

5/30(木)~31(金)、6/7(金)と卒業ボランティアの皆さんが苗の移植やポットづくり、プール清掃のお手伝いにかけてくれました。また、6/11(火)母親文庫による「読み聞かせ」も地域や保護者の方のご協力のもと、子ども達が楽しみにしている活動のひとつです。中村小学校の伝統として他の学校にも誇れる心温まるすばらしいPTA活動のひとつです。



5/30 小雨の中でした



5/31 お子さんと一緒に



6/7 大人1人は子供20人分!

第1回 読み聞かせ



子ども達も
興味津々!

楽しい
ひととき!



南部地区陸上記録会の訂正があります

学校だより6号でお知らせした入賞者一覧のボールスロー5年女子で(氏名)さんの**24m39cmで2位入賞**がぬけていました。その結果5年女子のソフトボール投げは、1~3位すべて中村小という素晴らしい結果となりました。入賞も30から31(78入賞中)と増えました。(氏名)さんすみませんでした!



福祉・ベルマーク委員会 「エコキャップ運動」、「ベルマーク運動」、「心のともし運動」、「緑の羽根運動」 ご協力ありがとうございます

福祉・ベルマーク委員会の呼びかけで4つの運動に取り組んでいます。ご協力ありがとうございます。募金の目的はいろいろあります。ただ募金するのではなく何の目的なのかを知ることが大切なことです。また、自分の生活の中からお金を使わなくても協力できることもあります。身のまわりのことに関心を持ち、社会福祉や環境について、自分ができることを考え取り組んでいくことは大切なことです。

- 緑の羽根募金 昭和25年に戦争で荒廃した森林の整備を目的に始まった募金です
- ベルマーク運動 昭和35年に学校などの教育施設や公民館などの生涯学習施設の整備と福祉施設などへの援助を目的にしたもの。「ベル」は国内外のお友達に愛の鐘を鳴り響かせようという意味
- 心のともし運動 児童文化協会が長年にわたって行ってきた社会福祉事業、ハンデのある人への援助活動
- エコキャップ運動 エコキャップ推進協会がキャップ回収により世界の子どもたちにポリオワクチンを届けようとする運動(キャップ860個で1人分のワクチンになります)



ご協力ありがとうございます

家庭教育学級の開級式 6/12(水)

人権講座 更生保護女性会長 鈴木公枝さん 他3名
読書のすすめ 中村小図書司書 仲田 幸子先生

家庭教育学級の開級式があり、講師として、土浦市更生保護女性会長の鈴木さんが身近にある人権課題や保護者の皆さんからの質問に答えてくださいました。一人一人の日常の人権意識の大切さ、子育ての悩みは一人で悩まず周りの人に相談することなど親身になって温かいお話をいただきました。図書司書の仲田先生からは、白雪姫など私たちが思いこんでいた物語の原作が違っていること。子どもに本だからといって安心して買ってあげがちだが、本によっては子どもに読ませたくない本もあり、タイトルだけでなく、親が本を読んで確認することが大切という話がありました。それぞれ、とても参考になるお話をいただきました。ありがとうございました。開級式後は給食の試食会で盛り上がりました。



